

企業名： 飛島建設

---

レポート名： コーポレートレポート 2021-2022

---

## 1. この会社が目指す姿が理解できるか

この章では、飛島建設のコーポレートレポートから見える将来について検討する。

飛島建設は以下のことを目指していることがわかった。

### ・ サステイナブルな社会の実現

飛島建設は過渡期にある現代社会においてこそ SX 経営を推進して持続的な企業価値を向上させようとしている。SX 経営とは DX による画期的な生産プロセスの変革や ESG・SDGs に配慮した経営による社会と企業の持続可能性の融合を目指す、sustainability transformation を推進する経営のことだ。

### ・ 「利他利己」の実現

飛島建設は創業者の「利他利己」という言葉を大切にしており、これは『己の利を図らんと欲せば己の利をあととし、これを犠牲としてまず相手の利を計れ。相手に提供した自分の犠牲は己の努力と創意工夫をもって補え。これが自他共に繁栄し、ひいて究極は必ず己の利となる結果をもたらす。』という意味である。

### ・ 地球環境への配慮

飛島建設は脱炭素化の推進と水資源問題への取り組みに取り組むことで地球環境の問題の解決を目指している。具体的例としては、脱炭素化のために、木材利用による炭素固定の推進、ZEB や ZEH といった環境に配慮した建物の建造、再生可能エネルギー事業の推進があげられる。また、水資源問題への取り組みとしては、水インフラ技術で国内外への水環境の保全事業や水関連施設工事の取り組みを強化することがあげられる。

### ・ 働き甲斐のある職場の実現

飛島建設は多様な人材を生かすダイバーシティを推進し、働き方の整備を進め、長時間労働の抑制や業務の効率化により、みんなが健康で働きやすい会社を目指している。

以上より、私はこのコーポレートレポートから飛島建設が目指す姿が理解できると思う。具体的にどのように推進するかも後の資料にて示されてあった。

## 2. この会社の競争優位性が理解できるか

### ＝飛島建設が我々（社会）に提供している価値が理解できるか

この章では、飛島建設のコーポレートレポートから見える現在について検討する。

飛島建設は「中期5カ年計画」という計画を推進している。これは構造改革推進ステージから構造改革定着ステージ、New Business Contractor へという変遷を目指し、建築業の枠を

広げ、社会に潜在する多様なニーズや未解決の課題を読み取り、それらを解決する能力（スマートソリューションサービス）を備えた事業を数多く展開することで、新たな未来社会「Society5.0」を多様な人々とともに作っていくためのプラットフォームの形成を目的とするものだ。

これにより、私は、建築業全体に生かせる DX 導入サービスが確立されており、飛鳥建設の競争優位性が生まれていると思う。建築現場では DX 導入に伴って、現場スタッフに高度な IT リテラシーが求められるようになったが実情が追いついておらず各種マニュアルの理解に多くの時間が割かれるなど新たな負荷が生じている。このような DX 導入における課題は「中期5カ年計画」で培われた建設 DX サポートサービスという建設技術者と IT 技術者が協力する仕組みにより解決することができ、これは飛鳥建設だからこそできる工夫だ。

以上より、私はこのコーポレートレポートから飛鳥建設の競争優位性が理解できると思う。

### 3. その競争優位性に持続性があるかどうか理解できるか

**＝飛鳥建設が我々（社会）に提供している価値は 10 年後、20 年後も提供し続けることができるか**

この章では、飛鳥建設のコーポレートレポートから見える推進力について検討する。

私が第二章にてあげた建設 DX サポートサービスという競争優位性はあまり持続性がないと思う。なぜなら、今は飛鳥建設でしか行われていない工夫かもしれないが、10 年後、20 年後はほかの建設会社もこの仕組みを用いている可能性が高いからだ。

特許庁によると、特許は特許法第 2 条に規定される発明、すなわち、自然法則を利用した技術的思想の創作のうち高度のものを保護の対象とする。したがって、金融保険制度・課税方法などの人為的な取り決めや計算方法・暗号など自然法則の利用がないものは保護の対象とはならない。建設 DX サポートサービスは特許を取ることが難しいものであるし、ほかの建設業者も DX 導入の際の問題を解決するために建設 DX サポートサービスを今後用いる可能性が高いと言える。

以上より、私は、このコーポレートレポートからは競争優位性に持続性があると言えないと思った。私が見つけたもの以外にも競争優位性がある可能性があるので一概には言えないが、飛鳥建設は持続性のある競争優位性を確立する必要がある。

### 4. この会社で自身の人的資本の価値向上を達成できると思うか

**＝企業のステークホルダーである「将来世代」として、この会社に就職して自身の人的資本の価値向上（＝スキルの向上）を達成できると思うか**

この章では、コーポレートレポートから見える人的資本の価値向上について検討する。このコーポレートレポートでは主に次の箇所で人的資本の価値向上について触れていた。

### p.3 「変化する社会ニーズの対応と今後の抱負」

飛鳥建設はサステイナブルな社会の実現と品質の確保と技術力の強化と同様に、働き甲斐のある職場の実現を目指している。多様な人材を生かすダイバーシティの推進し、働き方の整備を進め、長時間労働の抑制や業務の効率化により、みんなが健康で働きやすい会社を作ろうとしている。

### p.16 「ESG・SDGs マテリアリティ」

p.3 では詳しく説明されていなかった働き甲斐のある職場の実現についての説明がなされている。労働安全の推進、ダイバーシティ・インクルージョンの推進、ワークライフバランス・働き方の推進についてだ。しかし、具体的にどのようにしてそれぞれの項目を実行するのかについての説明はなく、やはり少し抽象的であるという印象を受けた。

### p.20 「ダイバーシティ推進経営方針」

女性社員へのインタビューを乗せることで実際の職場についてのイメージを沸きやすくしている。また、口語的に描かれている文章が読みやすさを増している。しかし、多様性の実現という名目で女性社員を登場させるのは少し安直な気がするし、どのようにして職場環境を改善するのかについての記載がない。

### p.30 「社員とともに」

働き甲斐のある職場を作るための具体的な取り組みが紹介されていた。長時間労働の抑制や業務の効率化がどのように行われているかは説明がなされていたが、ダイバーシティ・インクルージョンの推進をどのように行うかの説明が少し少ないように感じた。

以上より、私は飛鳥建設を通して自身の人的資本の価値向上を達成できると感じた。ダイバーシティ・インクルージョンの推進をどのように行うのかに関しては疑問が残っているが、企業全体が世の中の情勢に敏感であり、経営に SDGs 的な視点を持ち込んでいる点が素晴らしいと思った。

## 5. 報告書にはどのような改善余地があるか

この章では、このコーポレートレポートの改善余地について検討する。

第一章で見た飛鳥建設が目指す会社のありようについてだが、飛鳥建設はサステイナブルな社会の実現、地球環境への配慮、働き甲斐のある職場の実現などを目指していることが明確に示されていた。しかし、それについて具体的にどのように取り組むのかが地球環境への配慮に関してだけしか詳しく記載されていなかった。特に働き甲斐のある職場の実現に関しては抽象的であるという印象を持ったので、具体的にどのような職場改善を行っているのかをもっと伝えてほしい。

また、建築系の専門用語（ex. LP-LiC・SoC 工法、ZEB、ZEH）が注釈なしで使われている箇所があった。ステークホルダーが皆建築業に精通しているとは限らないので、専門用語への注釈、もしくは後のページで説明するという旨の但し書きはあったほうが親切だと思う。

#### （追加） 6. 報告書にはどのような良い点（見やすくするための工夫など）があるか

この章では、このコーポレートレポートの良い点について検討する。

まず、コーポレートレポートのタイトルの表記の「2021-2022」という部分が私はすごく見やすいと思った。「2021」という表記では、2021年度版のものなのか、2021年3月に発行されたものなのかがわからなくなることがたまにあるからだ。この配慮をしている企業はまれであり、ほかの受講者の担当企業のコーポレートレポートを確認したが、「2021-2022」という表記をしている企業は私が確認した限りでは飛鳥建設のみであった。飛鳥建設の細やかな配慮が素敵だと思った。

次に、p.16からの「SX 経営の推進」では、飛鳥建設が行っている事業と貢献している SDGs が一対一対応で書かれており、ロゴを用いて視覚的にもわかりやすくなっていてよかった。

#### 【参考文献】

飛鳥建設 コーポレートレポート 2021-2022

[https://www.tobishima.co.jp/csr/pdf/corp\\_report2021.pdf](https://www.tobishima.co.jp/csr/pdf/corp_report2021.pdf)

特許・実用新案とは | 経済産業省 特許庁

<https://www.jpo.go.jp/system/patent/gaiyo/seidogaiyo/chizai04.html>